

建設キャリアアップシステムの 活用推進について

Construction Career Up System



「建設キャリアアップシステム シンボルマーク」

- 「建設キャリアアップシステム」は、技能者の資格や現場での就業履歴等を登録・蓄積し、技能・経験が客観的に評価され、技能者の適切な処遇につなげる仕組み
- これにより、①若い世代がキャリアパスの見通しをもてる、②技能・経験に応じて処遇を改善する、③技能者を雇用し育成する企業が伸びていける建設業を目指す
- システムは、日建連、全建、建専連、全建総連など、業界団体と国が連携して官民一体で普及を推進

<建設キャリアアップシステムの概要>

※システム運営：（一財）建設業振興基金

技能者情報等の登録



- 【事業者情報】
 - ・商号
 - ・所在地
 - ・建設業許可情報 等
- 【現場情報】
 - ・現場名
 - ・工事の内容
 - ・施工体制 等
- 【技能者情報】
 - ・本人情報
 - ・保有資格
 - ・社会保険加入等

カードの交付・現場での読取




現場入場の際に読み取り

技能者にカードを交付

就業履歴を蓄積

技能レベルのステップアップ



レベル1 初級技能者 (見習い)

レベル2 中堅技能者 (一人前)

レベル3 職長レベル

レベル4 高度 マネジメントレベル

レベルに応じた処遇を実現へ

- ◎ 現場を支える技能者が、技能・経験に応じて適切に処遇され、働き続けられる環境づくり(働き方改革)
- ◎ 技能者の雇用、育成に取り組む企業の成長(生産性向上)

→ 建設業が「地域の守り手」として将来にわたり持続的な役割を担っていくために必要

- 建設キャリアアップシステムに登録される技能者の資格と経験について能力評価を実施しています
- 評価は、国土交通大臣が認定した評価基準に基づき、職種ごとの能力評価実施団体が行います

※建設技能者の能力評価制度は「建設技能者の能力評価制度に関する告示」(平成31年3月29日)及び「建設技能者の能力評価制度に関するガイドライン」に基づき実施されます

建設キャリアアップシステムに 技能者の資格と経験を蓄積

技能者の技能レベルに応じた4段階のカードを発行

<現場での能力・経験の蓄積>



技能者情報のイメージ	
ID	123456789012
氏名	建設 太郎
生年月日	S55 1980/07/28
保有資格	
登録基幹技能者	型枠 2016.06.20
技能講習	玉掛け 2008.05.21
特別教育	ロープ高所作業 2005.11.09
社会保険加入状況	退職金共済
健保	<input type="radio"/> 協会健保 <input type="radio"/> 建退共 <input type="radio"/>
年金	<input type="radio"/> 厚生年金 <input type="radio"/>
雇用	

- ◎ 経験 (就業日数)
- ◎ 知識・技能 (保有資格)
- ◎ マネジメント能力 (登録基幹技能者講習・職長経験)



- 初級技能者 (見習い)
- 中堅技能者 (一人前の技能者)
- 職長として現場に從事できる技能者
- 高度なマネジメント能力を有する技能者 (登録基幹技能者等)

(注1) 令和3年4月以降に技能者登録を行った建設技能者の方は、能力評価を受けるためには、まず建設キャリアアップシステムの技能者登録(詳細型)を行ってあることが必要です
 (注2) 評価の対象となる『就業日数』『職長・班長としての経験日数』については、建設キャリアアップシステムの利用開始前の経験について、経過的な措置として、所属事業者等による経歴証明により確認された情報を活用することができます(経過的な措置は令和6年3月31日までにを行う申請について適用されます)

能力評価対象分野の拡大について

技能者の能力評価は、国土交通大臣が認定した38分野の能力評価基準に基づき、それぞれの分野の能力評価実施団体により実施

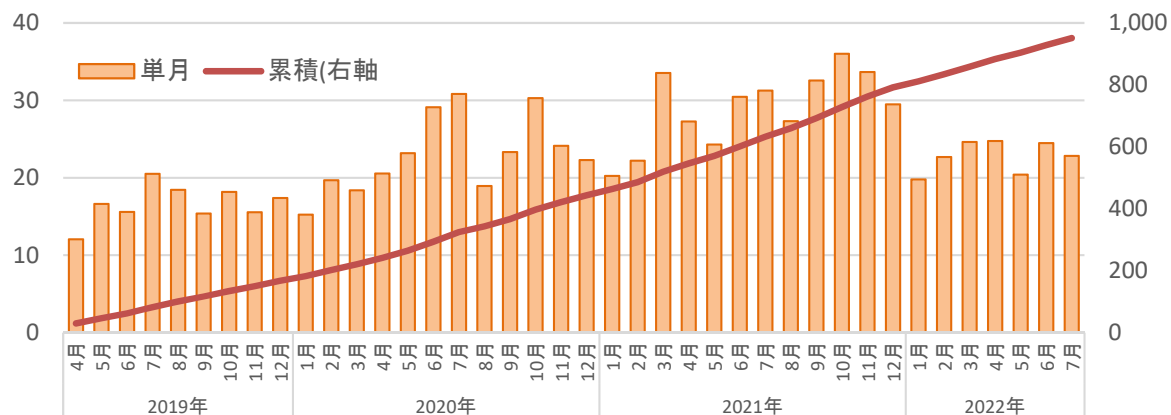
電気工事 (一社)日本電設工業協会	橋梁 (一社)日本橋梁建設協会	造園 (一社)日本造園建設業協会 (一社)日本造園組合連合会	コンクリート圧送 (一社)全国コンクリート 圧送事業団体連合会	防水施工 (一社)全国防水工事業協会
トンネル (一社)日本トンネル 専門工事業協会	建設塗装 (一社)日本塗装工業会	左官 (一社)日本左官業組合連合会	機械土工 (一社)日本機械土工協会	海上起重 (一社)日本海上起重技術協会
プレストレストコンクリート (一社)プレストレスト・ コンクリート工事業協会	鉄筋 (公社)全国鉄筋工事業協会	圧接 全国圧接業協同組合連合会	型枠 (一社)日本型枠工事業協会	配管 (一社)日本空調衛生工事業協会 (一社)日本配管工事業団体連合会 全国管工事業協同組合連合会
とび (一社)日本建設躯体 工事業団体連合会 (一社)日本鳶工業連合会	切断穿孔 ダイヤモンド工事業協同組合	内装仕上 (一社)全国建設室内工事業協会 日本建設インテリア事業 協同組合連合会 日本室内装飾事業協同組合連合会	サッシ・カーテンウォール (一社)日本サッシ協会 (一社)建築開口部協会	エクステリア (公社)日本エクステリア建設業協会
建築板金 (一社)日本建築板金協会	外壁仕上 日本外壁仕上業協同組合連合会	ダクト (一社)全国ダクト工業団体連合会 (一社)日本空調衛生工事業協会	保温保冷 (一社)日本保温保冷工業協会	グラウト (一社)日本グラウト協会
冷凍空調 (一社)日本冷凍空調 設備工業連合会	運動施設 (一社)日本運動施設建設業協会	基礎ぐい工事 (一社)全国基礎工事業団体連合会 (一社)日本基礎建設協会	タイル張り (一社)日本タイル煉瓦工事工業会	道路標識・路面標示 (一社)全国道路標識標示業協会
消防施設 (一社)消防施設工事協会	建築大工 全国建設労働組合総連合 (一社)JBN・全国工務店協会 (一社)全国住宅産業 地域活性化協議会 (一社)日本ログハウス協会 (一社)プレハブ建築協会	硝子工事 全国板硝子工事協同組合連合会 全国板硝子商工協同組合連合会	A L C (一社)A L C協会	土工 (一社)日本機械土工協会
ウレタン断熱 (一社)日本ウレタン断熱協会 ●令和4年4月1日より	発破・破砕 (一社)日本発破・破砕協会 ●令和4年4月1日より	建築測量 (一社)全国建築測量協会 ●令和4年6月1日より		

これに加えて、現在、10以上の専門工事業団体から、個別に能力評価基準の策定、又はその前段階となる「登録基幹技能者」の登録に係る相談を受付

技能者の登録数

95.1万人が登録

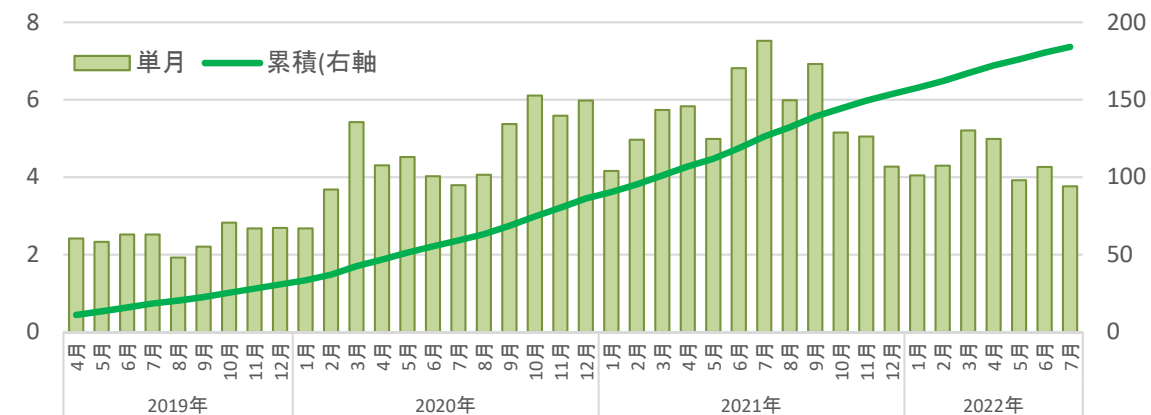
※労働力調査(R3)における建設業技能者数
:309万人



事業者の登録数

18.4万社が登録

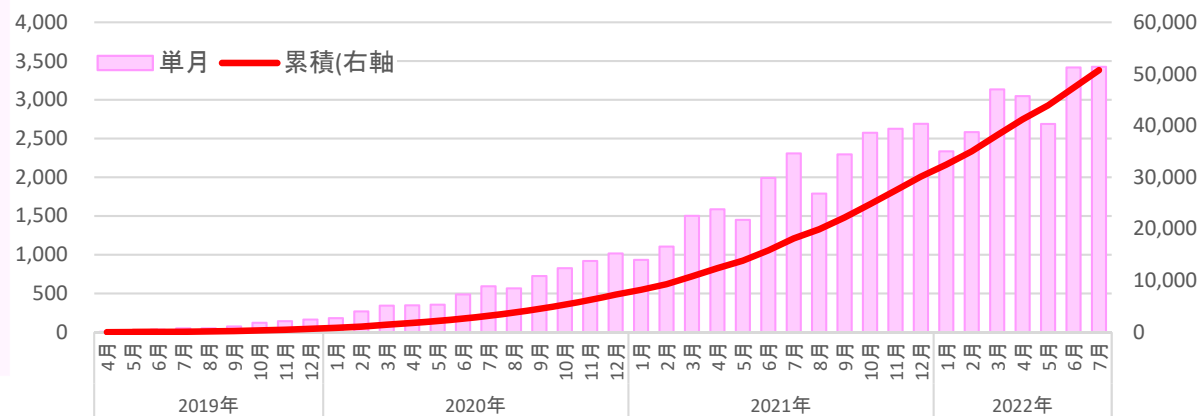
※うち一人親方は5.7万社



就業履歴数

現場での利用は増加傾向

※7月は過去最高の342.5万履歴を蓄積



各図表の縦軸単位は千件
出所:建設業振興基金データより国土交通省

都道府県におけるCCUSに係るモデル工事等の状況

- 直轄Cランク工事でのモデル工事について、地元建設業協会の理解が得られた**26都府県**で実施予定（他に5協会が検討中）
- 都道府県発注工事は、**34道府県**が**企業評価の導入等**を表明し、他の全ての都道府県においても導入の検討を表明

※モデル工事の工事評定での加点（19道府県）、総合評価における加点（18府県）、カードリーダー等費用補助（10県）など

都道府県発注工事でのモデル工事等の実施状況

【群馬県】モデル工事を実施

元請のカードリーダー設置のほか、下請事業者や技能者の登録等を工事成績評定の加点条件とするモデル工事を、発注者指定型と受注者希望型の2方式で実施

【長野県】総合評価等において加点

R2年4月より、総合評価方式での工事発注において「建設マネジメント」の項目として0.25点加点（R2年度は予定価格8000万円以上が対象）等

【山梨県】総合評価において加点

県土整備部発注工事（土木一式工事）において総合評価で加点（試行）

【滋賀県】総合評価において加点

総合評価方式において、「CCUSの元請企業の事業者登録と活用」を実施する場合に加点評価（試行）
※現場にリーダーを設置し、技能者が利用する場合に評価

【岡山県】全工事の成績評定において加点

R3年4月より、土木部発注の全工事を受注者希望型モデル工事を試行。事業者登録、技能者登録、カードリーダー設置等を工事成績評定にて加点

【宮城県】全工事の成績評定及び総合評価において加点

R3年4月より、土木部発注の全工事を受注者希望の推奨工事に位置づけ。うち20件程度に発注者指定の義務化工事を適用。また、総合評価方式において事業者登録を加点

【福島県】総合評価において加点

R2年4月より、総合評価方式の公告案件で、CCUSの活用を加点項目に追加

【静岡県】総合評価等において加点

総合評価方式での工事発注において、元請がCCUSに事業者登録している場合に「企業の施工能力」の項目として0.5点加点

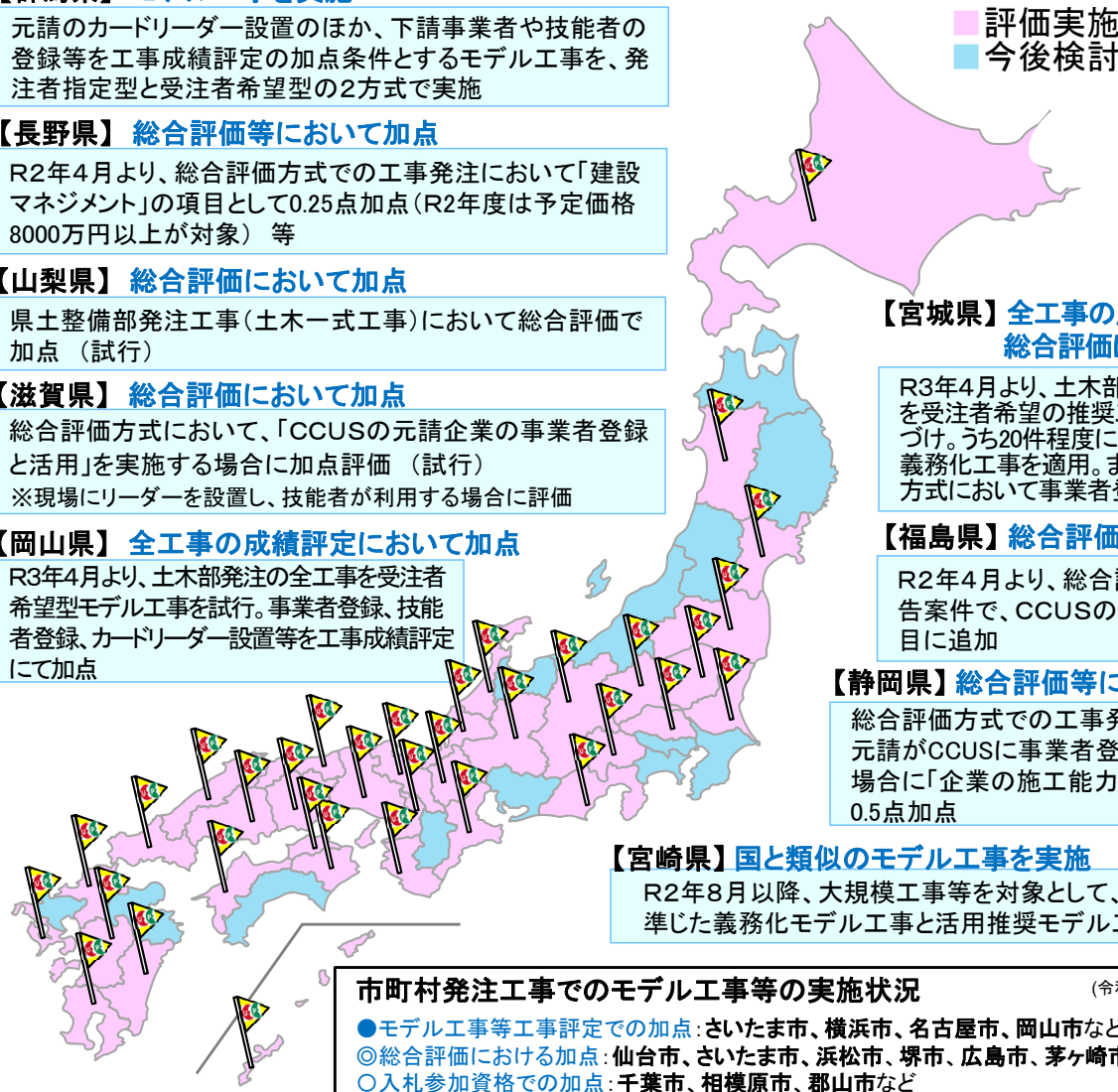
【宮崎県】国と類似のモデル工事を実施

R2年8月以降、大規模工事等を対象として、国の基準に準じた義務化モデル工事と活用推奨モデル工事を実施

市町村発注工事でのモデル工事等の実施状況

（令和4年7月13日 現在）

- モデル工事等工事評定での加点：さいたま市、横浜市、名古屋市、岡山市など
- ◎総合評価における加点：仙台市、さいたま市、浜松市、堺市、広島市、茅ヶ崎市、熊本市など
- 入札参加資格での加点：千葉市、相模原市、郡山市など



都道府県名	国直轄Cランク工事	都道府県工事での評価等	都道府県名	国直轄Cランク工事	都道府県工事での評価等
北海道		●★	滋賀県	●	◎
青森県		△	京都府	●	●◎
岩手県		△	大阪府	●	◎
宮城県	●	●◎★	兵庫県	●	◎○
秋田県	●	◎○	奈良県	●	△
山形県		△	和歌山県	●	○
福島県	●	●◎	鳥取県		★
茨城県		●	島根県	●	◎
栃木県	●	●◎	岡山県	●	●
群馬県	●	●◎○★	広島県		●◎
埼玉県	●	●★	山口県	●	●
千葉県		△	徳島県		○
東京都	●	△	香川県	○	◎★
神奈川県		△	愛媛県		●★
新潟県		△	高知県	○	△
富山県		△	福岡県		○
石川県	●	○	佐賀県	○	△
福井県	●	●○	長崎県	○	◎
山梨県	●	◎	熊本県		●★
長野県	●	◎○	大分県		△
岐阜県		●★	宮崎県	●	●◎○★
静岡県	●	●◎○	鹿児島県	●	●◎
愛知県	●	△	沖縄県	●	●
三重県	○	★			

（令和4年8月5日 現在）

<直轄Cランク工事>

- 都道府県建設業協会が賛同協会において検討中
 - 協会において検討中
- ※赤枠は令和4年4月以降に表明されたもの
※カードリーダー等の費用は発注者が負担

国土交通省調べ 等

<都道府県工事での評価等>

- モデル工事等工事評定での加点
 - ◎ 総合評価における加点
 - 入札参加資格での加点
 - ★ カードリーダー等費用補助
 - △ 検討中
- ※赤文字は令和4年4月以降に導入を表明されたもの

建設キャリアアップシステムによる技能者の処遇改善

～システムへの登録と利用促進、処遇改善への行程～

- ◎ CCUS情報発信・理解促進
 - ・CCUSサテライト説明会
 - ・CCUS認定アドバイザー等
- ◎ 登録のサポート体制
 - ・認定登録機関 等

- ◎ 現場ニーズに応じたツール多様化
(携帯電話やスマホ顔認証)
- ◎ 各種資格情報の効率的な確認
- ◎ 現場管理の効率化・安全書類等とのデータ連携

- ◎ 週休2日の推進への活用
(公共発注者による利活用)
- ◎ カードタッチ等のポイント還元
- ◎ 退職金(建退共)制度との連携

「技能者の処遇改善」

(技能者の賃金上昇が労務単価の上昇として反映)

「明確なキャリアパス」

「人材を雇用する企業が伸びる環境」

STEP 1

システムへの登録促進
元請・専門工事企業の登録を促進
CCUSの登録や現場運用の周知・理解促進

STEP 2

現場での利用の促進
元請による現場カードリーダー等の設置促進
技能者による就業履歴の蓄積の促進

STEP 3

技能者の処遇等への反映
技能者の能力評価の普及と処遇への反映を推進

新3Kの実現
(給料・休日・希望)

技能者の技能・経験の評価

技能者の入職・定着促進

- ◎ 求人・求職活動との連携
- ◎ 公共工事における企業評価
- ◎ 機器設置等に対する助成制度

- ◎ 公共工事における企業評価
(総合評価やモデル工事での加点)
- ◎ 経営事項審査における加点評価
- ◎ 外国人就労現場における利用推進

- ◎ 技能者のCCUSレベルに応じた手当て支給の促進
- ◎ 施工能力等の見える化評価
- ◎ 建設人材育成企業の顕彰
- ◎ 賃金改善に係る助成金制度

- ◎ 技能者の技能・経験に応じた賃金
 - ・標準見積書の活用による労務費等の見積り
(技能者の技能・地位に応じた見積りの促進)
 - ・元請による見積り尊重と請負価額の適正

建設キャリアアップシステム処遇改善推進協議会のもと官民一体で推進

国交省CCUSポータルサイトで各種支援や取組を一元的に情報発信

○建設キャリアアップシステムの利用手順をステップ順に説明します。

Step.1

情報の登録・登録料の支払
(技能者の方)



技能者

- 必須情報
 - ・本人情報
 - ・所属事業者ID、所属事業者名、職種
 - ・社会保険加入状況、建退共加入状況 等
- 推奨情報
 - ・保有資格、研修受講履歴、表彰
 - ・健康診断受診歴

Step.2 カードの取得



Step.5 就業履歴の蓄積



Step.6 経験の見える化

いつ、どの現場で、どの職種で、どの立場（職長など）で働いたのか、日々の就業実績として電子的に記録・蓄積



Step.1 情報の登録・登録料の支払 (下請事業者の方)

技能者と所属事業者の関連付け

事業者
下請

- ・商号、所在地
- ・建設業許可情報
- ・資本金、業種等
- ・社会保険加入状況 等

Step.4 施工体制の登録

現場・契約情報に対して、それぞれの施工体制を登録し、自社に所属する技能者の情報（氏名、職種、立場（職長等）を登録

- ・請負回数
- ・所属技能者の情報 等

Step.1 情報の登録・登録料の支払 (元請事業者の方)

- ・元請組織登録
- ・現場管理者ID付与

事業者
元請

- ・商号、所在地
- ・建設業許可情報
- ・資本金、業種等
- ・社会保険加入状況 等

Step.3 現場の登録

元請事業者の方は、現場を開設する際に現場・契約情報を登録

- ・現場名
- ・工事内容
- ・就業履歴蓄積期間 等

【重要】

利用するために必要なモノ

- ①事業者ID、技能者ID（カード）
- ②現場運用マニュアル
- ③建レコ
- ④カードリーダー
- ⑤パソコンまたはiPad、iPhone

- 技能者情報申請が完了すると、建設キャリアアップカードが届きます。
- レベル1のホワイトカードが交付され、経験・資格を重ね能力評価を受けてカードをブルー、シルバーへとレベルアップさせていきます。



【レベル1】ホワイトカード（表面）



【レベル2】ブルーカード（表面）



【レベル3】シルバーカード（表面）



【レベル4】ゴールドカード（表面）



【裏面】

※カード赤枠部分が技能者ID（14桁）

- ・ ICカードには、ICチップが内蔵されています（非接触型のICカード）。
- ・ ICチップには、データとして技能者IDを記憶させています。
- ・ ICチップ内のデータは暗号化等のセキュリティ対策が施されています。
- ・ カードに同封される「ご利用上のご注意」をご確認ください。

<保管時> クレジットカードなどと同様の扱い

<使用時> カードを折り曲げない

<勤務時> 高周波や強い紫外線の環境では身につけない

セキュリティコード（4桁）

※パスワードを変更する際に必要です。

1. 技能者のメリット

- ① CCUS情報を活用した能力評価と、レベルごとの年収目安の明確化による、賃金水準の相場感の形成、引き上げ/ダンピング防止
- ② 現場や勤務先が変わっても、自らの能力を客観的に証明可能に
- ③ カードリーダータッチで日々310円の建退共掛金を積み立て（元請が一括して掛金支払い）

2. 下請業者側から見たメリット

- ① 自社が雇用する技能者の数や保有資格、社会保険加入状況等が明らかになり、取引先からの信頼が得やすくなる（=企業の実力の見える化）
- ② 技能者の能力評価と連動した専門工事企業の施工能力等の見える化（4段階評価）も令和3年度から開始
- ③ 出面管理のIT化、賃金や代金支払いの根拠が明確に

3. 元請や上位下請から見たメリット

- ① 初めて仕事する下請業者の実力や技能者の資格等(*)の確認ができ、施工の安心感につながる
* 社会保険加入状況や安全衛生資格保有の有無、一人親方の労災特別加入状況
- ② PCで作業の進捗状況の確認や下請への支払いの適正化などの現場管理の効率化
- ③ 施工体制台帳、作業員名簿の作成、建退共の証紙受払・貼付等の作業の簡素化、ペーパーレス化
- ④ 増える外国人労働者の資格等の確認が容易に



建設業界全体としては、
CCUSが普及することで……

- 若い世代への建設業のイメージアップ
- 施主に対する価格交渉力アップ（エビデンスに基づく請求が可能）
- 真に実力がある企業が選ばれる透明性の高い建設市場への変革

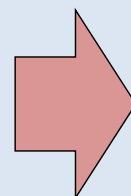
- 建設キャリアアップシステムに登録・蓄積される情報や技能者の能力評価を活用し、専門工事企業の施工能力等を「見える化」
- 技能者を雇用・育成する専門工事企業が、発注者や元請、ハローワーク等に情報発信し、受注機会や入職者確保につなげる

【見える化の項目と評価内容】

基礎情報	建設業許可の有無
	資本金
	完成工事高
	団体加入の有無 等

施工能力	建設キャリアアップカード保有者数
	レベル3以上の技能者数の割合
	29歳以下の割合、平均勤続年数
	保有する建設機械の台数 等

コンプライアンス	社会保険加入の有無
	処分歴の有無
	コンプライアンス確保の取組 等



【評価結果】 評価を受けた職種について ☆☆☆☆の4段階で評価

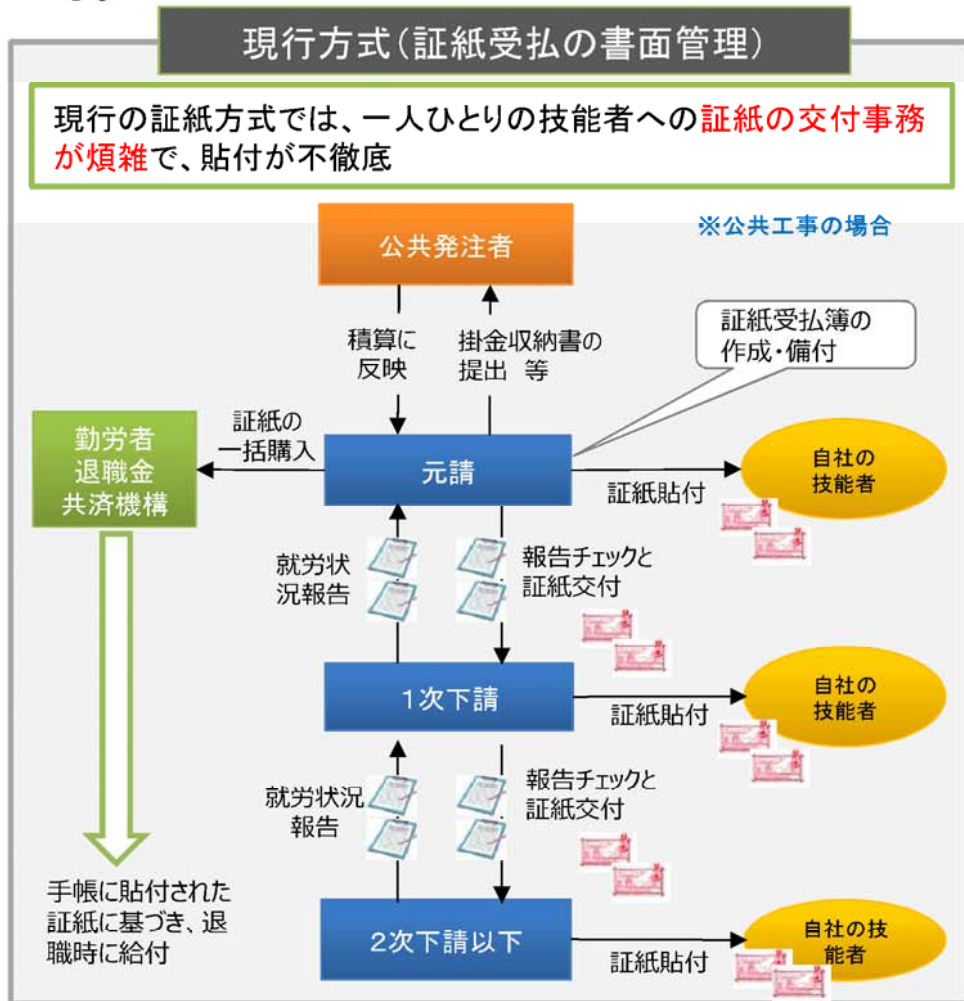
職種
基礎情報	☆☆☆☆
施工能力	☆☆☆☆
コンプライアンス	☆☆☆☆



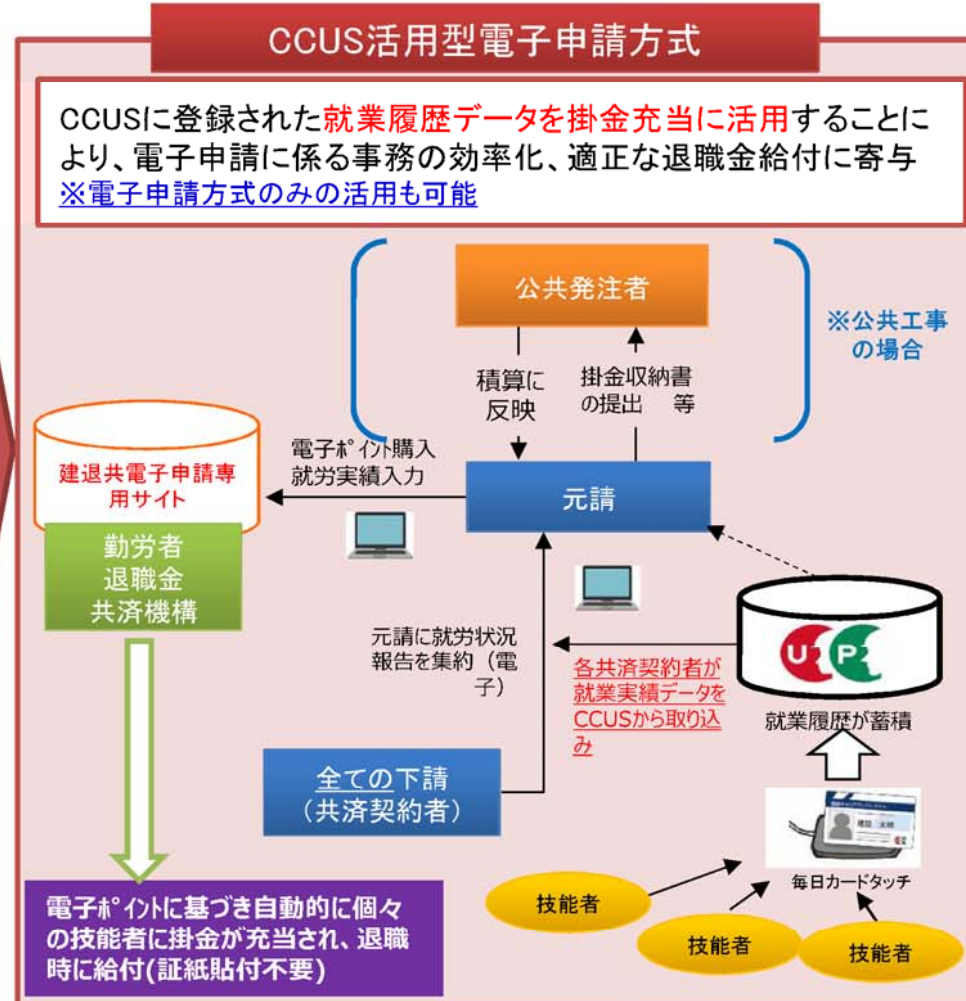
(見える化ロゴマーク・バナー)

・業種ごとに選択評価内容の追加も可能

- 2021年度より、建退共制度の事務の効率化及び適正履行等を確保する観点から、建退共の電子申請方式が導入（あわせて、技能者がCCUSに登録した就業履歴データの電子申請方式への活用を可能とする「CCUS活用電子申請方式」が導入）。
- CCUSに登録された就業履歴データを活用することにより、建退共の電子申請に係る事務の効率化、適正な退職金給付に寄与。



順次移行を促進



電子申請に係る事務とCCUSの就業履歴登録のための手続の双方を一層効率化する観点から、さらに機能を追加
⇒「元請一括方式」・「一次下請一括方式」と「R方式」

- 国交省では、「社会保険の加入に関する下請指導ガイドライン(平成24年7月通知・同年11月施行)」を定め、適切な社会保険の加入を確認できない技能者は、特段の理由がない限り現場入場を認めない取扱いとしてきたところ。
- 令和元年の建設業法等の一部改正等により、施工体制台帳の記載事項として、工事に従事する者に関する事項が追加され、工事に従事する者の社会保険の加入状況等も記載事項とされたことを踏まえ、建設キャリアアップシステム(CCUS)に登録された真正性の高い情報を活用し、効果的に社会保険加入の確認・指導を行うことを原則とする。

これまでの社会保険未加入対策の段階的な強化

○施工体制台帳等の記載事項に社会保険加入状況を追加(H24.5改正、11施行)

○経営事項審査での減点幅拡大(H24.7～)

○直轄工事から社会保険未加入企業排除を順次拡大(H26.8～) ※現在は、2次下請以下も含めペナルティ

○平成29年以降は、適切な保険への加入が確認できない作業員は現場入場を認めない取扱いとするよう指導

○建設業法改正(R2.10～施行)
 ・社会保険加入が建設業許可・更新の要件化
 ・作業員名簿が施工体制台帳の書類の一つに



令和2年10月1日以降の取組

- 【社会保険の加入に関する下請指導ガイドラインにて以下の取組を明記】**
- 各作業員の社会保険加入状況の確認を行う際には、登録時に社会保険の加入証明書類等の確認を行うなど情報の真正性が厳正に担保されているCCUSの登録情報を活用※し、同システムの閲覧画面等において作業員名簿を確認して保険加入状況の確認を行うことを原則とする
 - CCUSを使用せず、社会保険の加入確認を行う場合、元請企業は下請企業に対し、社会保険に加入していることを証する関係資料のコピー（電子データ可）を提示させるなど、情報の真正性の確保に向けた措置を講ずること
 - CCUS登録企業を下請企業として選定することを推奨
 - 技能者のキャリアアップカードの登録を推奨、建設現場にカードリーダーの積極的導入
- ※CCUSとAPI連携済みの民間システムでも可

【CCUSで確認できる社会保険加入状況】

番号	ふりがな 氏名 技能者ID	健康保険 年金保険 雇用保険	
		保険名称の列	保険番号の列
1	けんせつ たろう 建設 太郎 1111111111111111	協会けんぽ 厚生年金 一般	9012

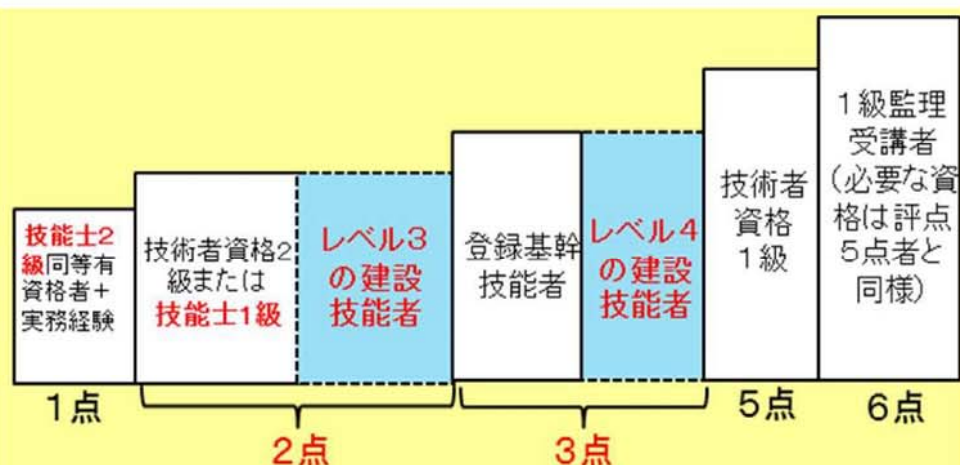
※ CCUS登録時に運営主体により真正性確保

経営事項審査において建設キャリアアップシステムの導入を踏まえて評点を付与

改定 (R2.4.1~)

【Z1 : 技術職員数】

○建設キャリアアップシステムにおいて、**レベル4、3と判定された者の数**に応じて、新たに評点を付与



※建設技能者の能力評価基準において

- ・レベル4 = 登録基幹技能者相当
- ・レベル3 = 技能士1級相当とされている。

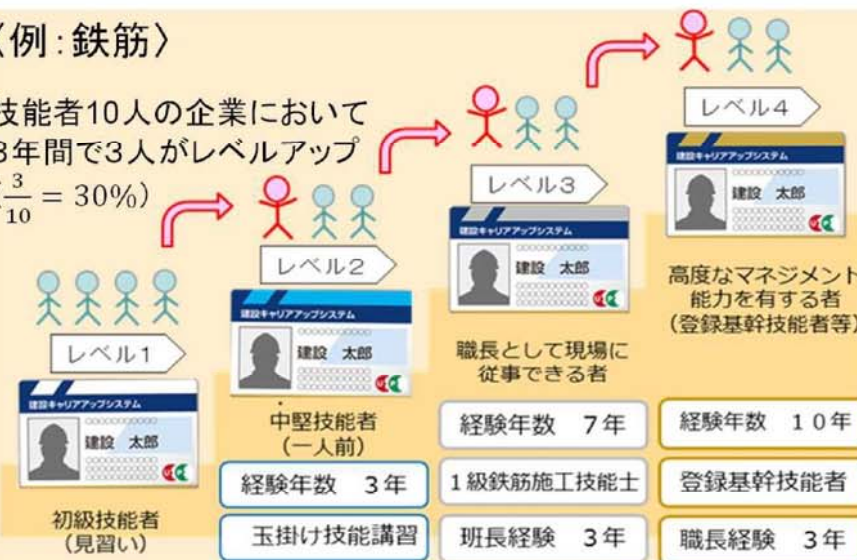
新設 (R3.4.1~)

【W10 : 知識及び技術又は技能の向上に関する取組の状況】

○基準日後3年間に於いて、建設キャリアアップシステムで**レベル2以上にアップした建設技能者の割合**に応じて評点を付与(最大10点)

〈例:鉄筋〉

技能者10人の企業において3年間で3人がレベルアップ
 $(\frac{3}{10} = 30\%)$



※技術者については、一人当たりの継続教育(CPD)プログラムの受講単位数に応じて評点を付与。

令和5年8月14日以降を審査基準日とする申請で適用

- 建設工事の担い手の育成・確保に向け、技能労働者等の適正な評価をするためには、就業履歴の蓄積のために必要な環境を整備することが必要であり、CCUSの活用状況を加点対象とする。

審査対象工事 ①～③を除く審査基準日以前1年以内に発注者から直接請け負った建設工事

- ① 日本国内以外の工事
 - ② 建設業法施行令で定める軽微な工事
 - ③ 災害応急工事
- 〔 工事一件の請負代金の額が500万円(建築一式工事の場合は1,500万円に満たない工事)
建築一式工事のうち面積が150m²に満たない木造住宅を建設する工事
〔 防災協定に基づく契約又は発注者の指示により実施された工事 〕 〕

該当措置 ①～③のすべてを実施している場合に加点

- ① CCUS上での現場・契約情報の登録
- ② 建設工事に従事する者が直接入力によらない方法※でCCUS上に就業履歴を蓄積できる体制の整備
- ③ 経営事項審査申請時に様式第6号に掲げる誓約書の提出

※直接入力によらない方法

就業履歴データ登録標準API連携認定システム (<https://www.auth.ccus.jp/p/certified>) により、入退場履歴を記録できる措置を実施していること等

加点要件	評点
審査対象工事のうち、 <u>民間工事を含む全ての建設工事</u> で該当措置を実施した場合	15
審査対象工事のうち、 <u>全ての公共工事</u> で該当措置を実施した場合	10

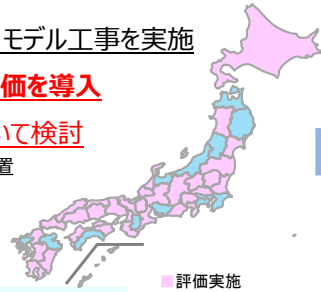
※ただし、審査基準日以前1年のうちに、審査対象工事を1件も発注者から直接請け負っていない場合には、加点しない

CCUSに関する主な取組

元請による現場利用、現場管理での活用

公共工事でのインセンティブ措置の導入

- ◎直轄工事で、WTO工事等において、モデル工事を実施
- ◎都道府県では、**34道府県が企業評価を導入**
- ◎さらに、**経営事項審査での加点について検討**
(すべての元請工事におけるカードリーダー設置等について加点することを検討)



- 『ブロック別CCUS連絡会議』で、都道府県建設業協会や都道府県などと情報共有し活用を推進
- 市町村に対しては『都道府県公契連』を通じて働きかけ

■評価実施
■今後検討

建退共（退職金制度）の掛金給付との連携

- ◎CCUSと電子申請方式との連携で建退共充当を効率化
※今夏から、**元請や1次下請が直接にデータ利用できる機能を供用**

技術者専任要件緩和の要件化

- ◎**監理技術者等の兼任を認める要件に、CCUS等による施工体制確認を位置づけることを検討**

社会保険加入確認での活用、施工体制管理等

現場管理での更なる活用を推進

小規模現場ニーズに応じたツールの多様化

- ◎カードリーダーが常設しにくい現場も**スマホ等で利用が可能**



自身の顔をスマホにかざして入退場が登録可能

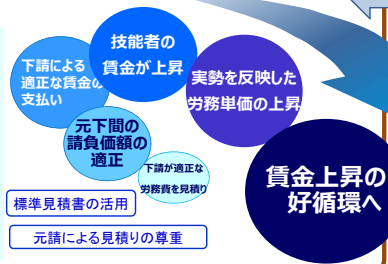
労務費や処遇改善との連動

労務費調査との連動（技能者の技能経験に応じた労務費）

- ◎労務費調査でCCUS技能者や技能・経験別の賃金の実態を調査
⇒**レベル別の賃金目安を公示するなど、労務費調査と能力評価をどのように関連づけるかについても検討**

労務費調査でのCCUS技能者の実態
(令和3年度労務費調査)

- CCUS登録技能者(レベル4)の平均賃金はCCUS登録技能者(レベル1~3)より**約14%高い**
- CCUS登録技能者の平均賃金は全建設技能者より**約3%高い**



技能レベルを反映した手当支給の促進

- ◎**CCUSの能力評価等を企業独自の手当にて反映する取組が広がりつつあり、20社を超える企業で導入または検討。**

ゼネコン個社による手当支給への取組例

- CCUSのレベル別に月額手当を支給する優良技能者制度を実施【西松建設】
- 優良職長認定条件にCCUSカード保持を義務化、協会の規則でCCUS加入を義務化【奥村組】
- 評価制度をCCUSのレベル基準へと転換。R5.6より推薦要件化も検討【村本建設】
- 優良職長制度の認定要件にCCUS技能者登録を追加。建退共において、民間工事にて半額負担としていた共済掛金をCCUS登録技能者を対象に全額負担とする【鹿島建設】
- 独自の労務費補正制度(休日取得目標達成で、労務費を割増)にCCUS履歴を活用【五洋建設】

【その他導入・検討中の企業】青木あすなる建設、浅沼組、飛鳥建設、大林組、大林道路、奥村組、熊谷組、清水建設、大成建設、大日本土木、竹中工務店、東亜建設工業、東洋建設、戸田建設、日本国土開発、フジタ、前田建設工業、馬淵建設、三井住友建設、ヤマワ

公共発注者による週休2日工事との連携

- ◎CCUSの管理機能を用いて、**公共発注者による週休2日工事の円滑な実施に活用**（公共発注者による閲覧機能を内製化）

技能者アンケートでは、週休2日と技能経験に応じた賃金の要望が多い



技能・経験の評価や見える化

能力評価制度の実施

- ◎現在、38分野で能力評価を実施
- ◎レベル2以上は**約6万人**（うちレベル4は約4万人）



施工能力の見える化評価

- ◎現在、**9分野**で見える化評価を実施（さらに、その他**7分野**で評価を検討中）

職種
基礎情報	★★★★★
施工能力	★★★★★
コンプライアンス	★★★★★



※評価実施企業は、見える化ロゴマーク、バナーの使用が可能

- ◎都道府県レベルの専門工事業団体との対話のための環境づくりを推進（先行して10県で、『官民推進協議会』を設置）

【宮城県】



【静岡県】



【ポイント1 / 申請手続きの前に】

- 申請手続きは、「認定登録機関・登録支援機関申請」、「インターネット申請」の方法がある
- 登録申請方法はインターネット申請が簡単で技能者登録料もお得
⇒申請手続きを始める前に、「建設キャリアアップシステム」のホームページに掲載されている「インターネット申請ガイド」で、登録申請方法を確認
- 紙の申請書（認定登録機関申請）は、「手引」に記入例が掲載

【ポイント2 / 事前準備（インターネット申請の場合）】

- システムに登録する本人確認書類や資格等は、全てJ P E Gデータに変換
- パソコンに技能者毎のフォルダを作成し、各人のデータを保存
⇒フォルダ毎に整理した方が申請時にデータを探す手間等が省け、登録間違いも防げる

【ポイント3 / 申請手続き】

- 最初に事業者の情報を登録申請し（事業者ID取得）、次に、技能者の情報を登録申請
- 技能者や事業者の申請を、所属事業者や上位下請業者等が登録申請（代行申請）を行うことが可能
⇒代行申請には**事業者IDが必要**
⇒代行申請で、技能者の情報をまとめてエクセルシートに入力して取込が可能
- 一人親方の方は、「事業者」、「技能者」両方の登録申請が必要
- 会社にキャリアアップシステムの担当者を決めておいた方が手続や問合せ対応がスムーズ

技能者の登録料

- インターネット申請
 - 簡略型 2,500円
 - 詳細型 4,900円
- 簡略型から詳細型へ
変更申請 2,400円

- 認定登録機関申請 4,900円
(書面申請、詳細型)

カードの有効期限：10年

※60歳以上の技能者の特例措置

①登録料は 2,000円(500円割引)
(2023年3月迄にインターネット申請した
60歳以上の方)

②カードの有効期間を15年とする
(登録・更新時の年齢が60歳以上の方)

※有効期間内にカードの紛失、破損等
があった場合は、実費：1,000円
(発送費を含む)で、再発行

事業者の登録料・利用料

①事業者登録料(5年ごと)

資本金	新規・更新
500万円未満	6,000円
500万円以上1,000万円未満	12,000円
1,000万円以上2,000万円未満	24,000円
2,000万円以上5,000万円未満	48,000円
5,000万円以上1億円未満	60,000円
1億円以上3億円未満	120,000円
3億円以上10億円未満	240,000円
10億円以上50億円未満	480,000円
50億円以上100億円未満	600,000円
100億円以上500億円未満	1,200,000円
500億円以上	2,400,000円

※対象は個人事業主を含む全ての事業者
※ただし、一人親方は無料
※個人事業主は6,000円

②管理者ID利用料(毎年)

ID数	料金
1あたり	11,400円

※交付した月ごとでまとめて登録責任者に請求
※ただし、一人親方は2,400円/年
※管理者IDの取得により、事業者情報の管理、
現場の登録、技能者情報の閲覧、帳票出力が
可能

③現場利用料

就業履歴回数	料金
1回	10円

※月ごとでまとめて元請の登録責任者に請求
(現場ごとの利用状況等を登録責任者は閲覧可能)
※現場に入場する人日単位で課金
※就業履歴回数とは、就業履歴情報の登録回数

	事業者登録料	管理者ID利用料	現場利用料
請求時期	申請後、運営主体より請求	事業者登録により自動作成 事業者登録料とあわせて請求書を送付 IDの追加手続をおこなうと、請求書を作成・送付	月末締め 管理者ID利用料とまとめて翌月初旬に請求 書を発送 ただし、一定額(1,500円)に満たない場 合、最大6ヶ月間請求の繰り越し
支払期限	※入金確認後、IDの通知	当初登録月の翌々月10日	履歴情報登録月の翌々月10日
支払方法	コンビニ・銀行・クレジット払いの いずれか	銀行振込	銀行振込

簡易型の登録項目は、技能者の個人情報、所属事業者、社会保険等の加入状況など次の7種類の項目を登録します。

登録方法	項目	必須	入力項目	主な添付書類等	
I.簡略型 2,500円	1 本人情報	<input type="radio"/>	技能者氏名	顔写真	
		<input type="radio"/>	生年月日	運転免許等	
		<input type="radio"/>	性別		
		<input type="radio"/>	血液型		
		<input type="radio"/>	国籍（外国籍の方のみ）		
		<input type="radio"/>	現住所		
		<input type="radio"/>	電話・FAX番号（いずれか）		
		<input type="radio"/>	メールアドレス		
			CCUSカード送付先（現住所と違う場合のみ入力）		
			緊急連絡先住所（現住所と違う場合のみ入力）		
		<input type="radio"/>	緊急連絡先電話番号		
	<input type="radio"/>	緊急連絡先氏名			
	2	所属先事業者情報	<input type="radio"/>	所属事業者（基本情報は事業者登録情報から参照、メールアドレス、雇用形態を入力）	
	3	職種	<input type="radio"/>	職種選択	
	4	経験等		過去の経験（自由記述）	
	5	社会保険	<input type="radio"/>	健康保険（※）	健康保険被保険者証
			<input type="radio"/>	年金保険（※）	標準報酬月額決定通知書
<input type="radio"/>			雇用保険（※）	雇用保険被保険者証	
6	建退共	<input type="radio"/>	被共済者番号（※）	建設業退職金共済手帳	
7	中退共	<input type="radio"/>	（※）	中小企業退職金共済手帳	

（※）加入の有無についての選択及び加入している場合の必要項目の入力が必要

詳細型の登録では、簡略型の登録項目に加えて、技能者の労災保険、健康診断、保有資格等のなど次の7種類の項目を登録します。

登録方法	項目		必須	入力項目	主な添付書類等
Ⅱ.詳細型 (1~14項目の登録) 4,900円	8	労災保険特別加入	○	労災保険整理番号(※)	確認書類
	9	健康診断		健康診断種別コード	
	10	学歴		学校名	卒業証明書
	11	登録基幹技能者資格		資格名選択	
	12	保有資格等		資格名選択	講習修了証等
	13	研修等受講履歴		研修名	受講履歴確認書類
	14	表彰履歴		表彰名	表彰確認書類

(※) 加入の有無についての選択及び加入している場合の必要項目の入力が必要

★事業者が自社に関する情報を閲覧できるメニュー

①事業者情報（自社）

事業者情報(自社情報)	
事業者ID	39809523422822
事業者名フリガナ	(カブ)キキンケンセン
事業者名	(株)基金建設
事業者階層の詳細表示	
法人・個人区分	法人
法人番号	
代表者名	基金 一郎
所在地	〒105-0001 東京都 港区 虎ノ門1-85-5
電話番号	03-0901-0802
資本金	500,000 千円
登録責任者	氏名 基金 一郎 電 03-0901-0802

②所属技能者の情報が一覧で表示

技能者一覧						
	技能者ID	技能者名カナ	技能者名	技能者名アルファベット	主たる所属事業者ID	主たる所属事業者名
◎	03997926724021	イシヅミゴロウ	石積 五郎		92009079782822	(株)キャリア三次建設
○	60765240535721	コウキョウケンジ	公共 建二		92009079782822	(株)キャリア三次建設
○	62657536076821	ゲンスンシロウ	原寸 四郎		92009079782822	(株)キャリア三次建設

③所属技能者の就業履歴が一覧で表示（暦日毎）

事業者ID	事業者名	技能者ID	技能者名	技能者名フリガナ	技能レベル	在留資格	技能者	
							1 火	2 水
集計								
			計上				現場承認	現場登録
現場数			0				0	0
就業履歴数			0				0	0
就業日数			0				0	0

④所属技能者の各種情報を集計

所属技能者統計情報		
対象時点 2019年03月末現在		
所属技能者数		
保有資格		
資格種類	人数(人)	割合(%)
登録資格技能者	0	0.00
技能士	0	0.00
免許・資格	0	0.00
技能講習	0	0.00
特別教育	0	0.00
その他安全衛生講習	0	0.00
適切な保険判定		
保険種類	人数(人)	割合(%)
健康保険	0	0.00
年金保険	0	0.00
雇用保険	0	0.00
技能レベル		
レベル	人数(人)	割合(%)
4(金)	0	0.00
3(金)	0	0.00
2(金)	0	0.00
1(金)	7	100.00

★稼働中の現場にて「元請事業者」、「上位下請事業者」が現場に関する情報を閲覧できるメニュー

情報										
次数	事業者			自社の工事内容	代表者名	所在地		事業者の保険加入状況		
	事業者ID	事業者名	法人・個人区分			都道府県	都道府県以降	健康保険	厚生年金	雇用保険
一	27221692744322	(株)キャリア一次建設	法人	東京外環バイパス道路工事 舗装工事	キャリア一次	東京都	北区北150-150	加入	加入	加入
二	02992387879622	(株)キャリア二次建設	法人	東京外環バイパス道路工事 路盤設置工事	キャリア二次					
三	92009079782822	(株)キャリア三次建設	法人	東京外環バイパス道路工事 路盤工付帯工事	三次建設キャリア					

技能者ID	技能者名	フリガナ	技能レベル
46449733396221	足場高志	アシバタカシ	4(金)
05195158307221	滑車三郎	カッサヤサブロウ	4(金)
13012287594321	建材一郎	ケンザイイチロウ	4(金)

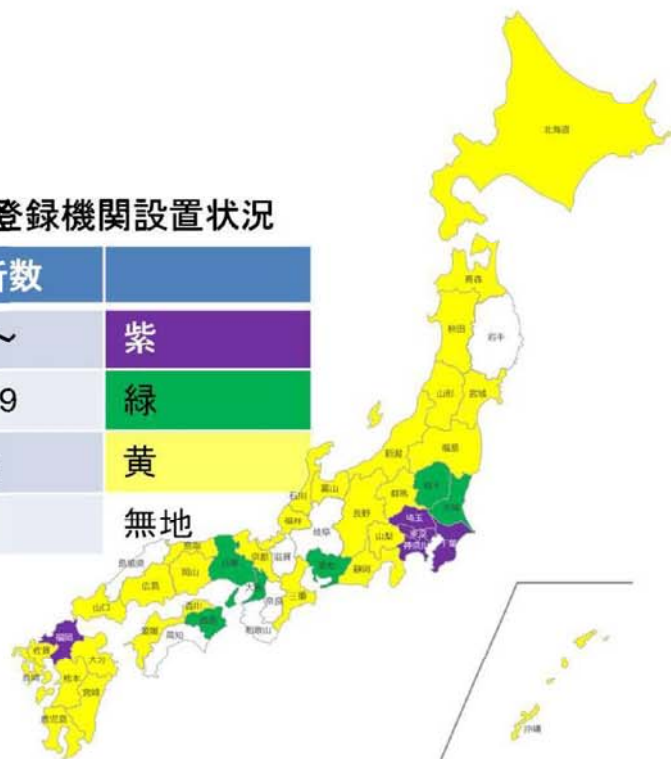
- 認定登録機関・登録支援機関は、インターネット申請が困難な利用者の利便性を確保するため、書面申請による受付、審査、システム登録までの一連の事務を行う窓口。
- 第1四半期に公募等により6箇所増設し、6月末現在全国277箇所（準備中11箇所含む）に設置。いずれも未設置は島根県のみ。
- 定期的な公募等により空白地域の解消に努めているところ。

	箇所数(2022.6)	申請内容	対象者
認定登録機関	236(40都道府県)	事業者、技能者(詳細型)	一般
登録支援機関	41(26府県+15 ^(注))	同上(事業者のみ7箇所)	設置者の会員、取引先等

(注)大手建設会社10社が登録支援機関を15箇所設置し関係企業等の申請に対応

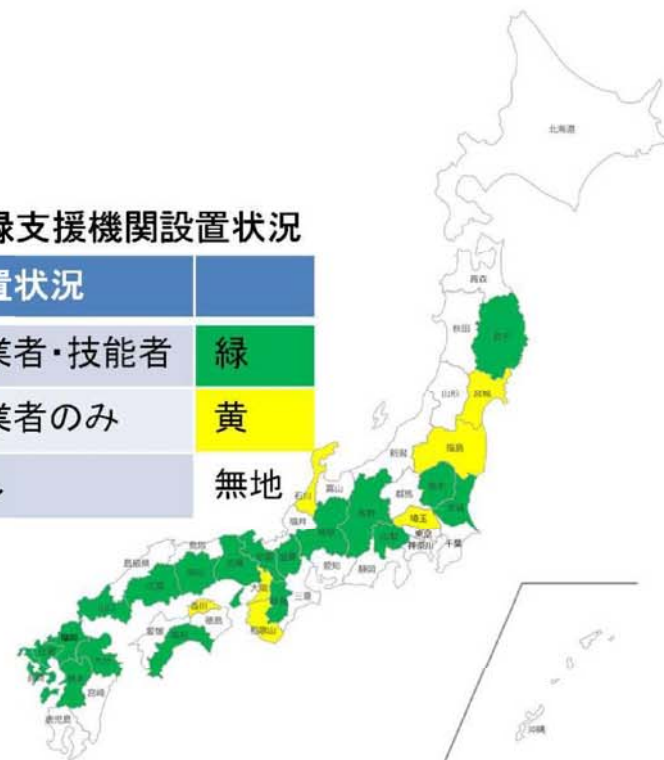
認定登録機関設置状況

箇所数	色
10~	紫
3~9	緑
~2	黄
0	無地



登録支援機関設置状況

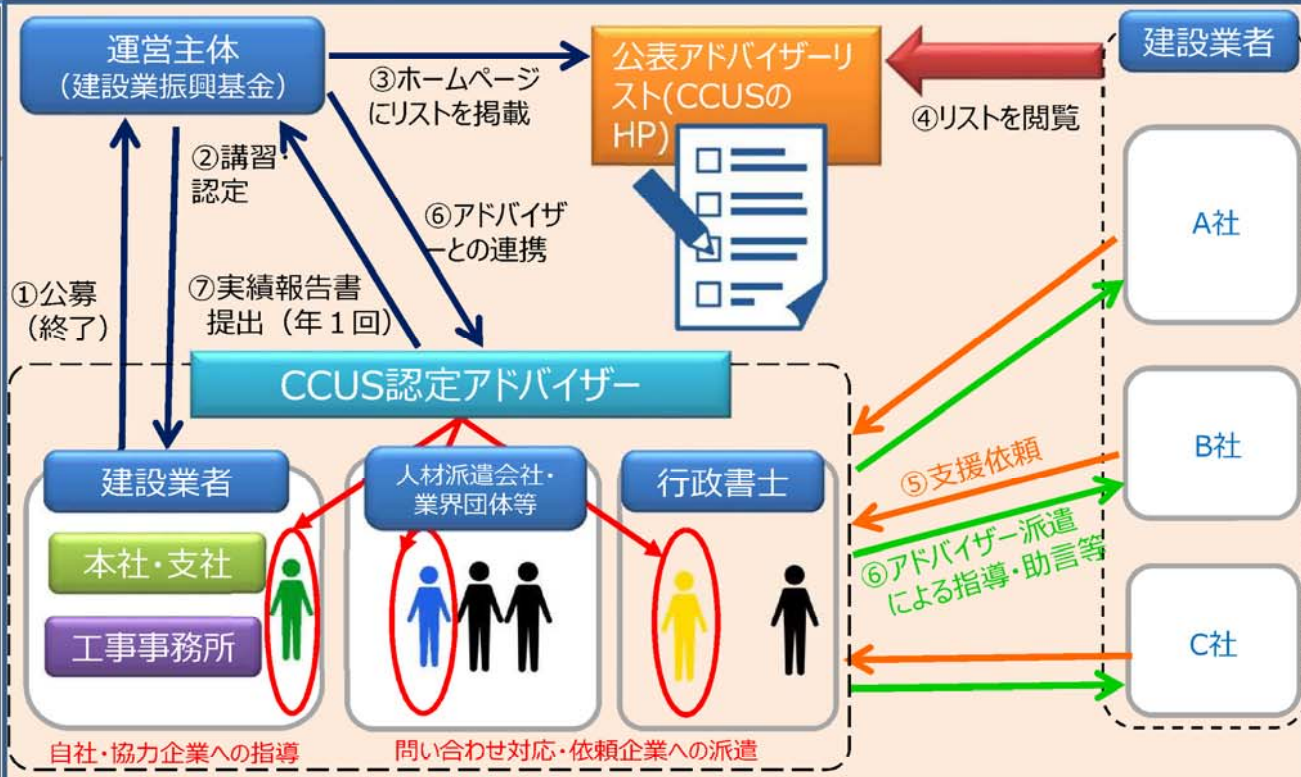
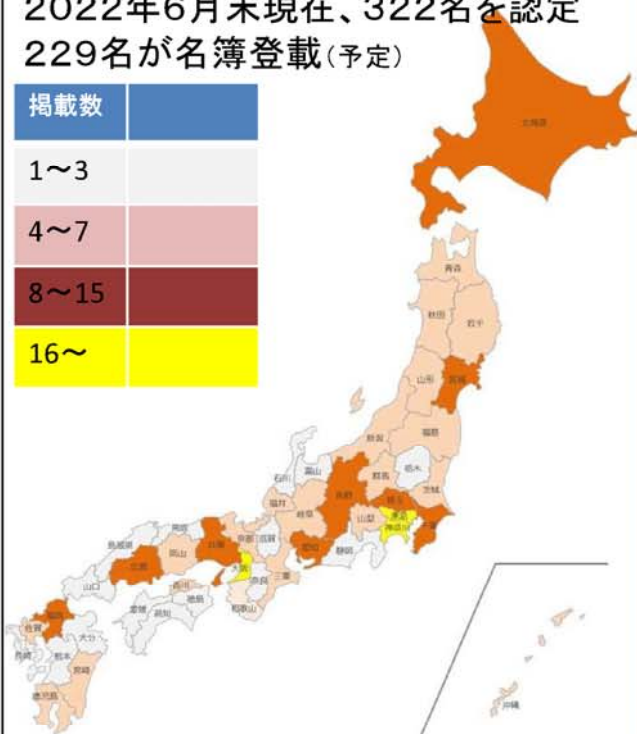
設置状況	色
事業者・技能者	緑
事業者のみ	黄
無し	無地



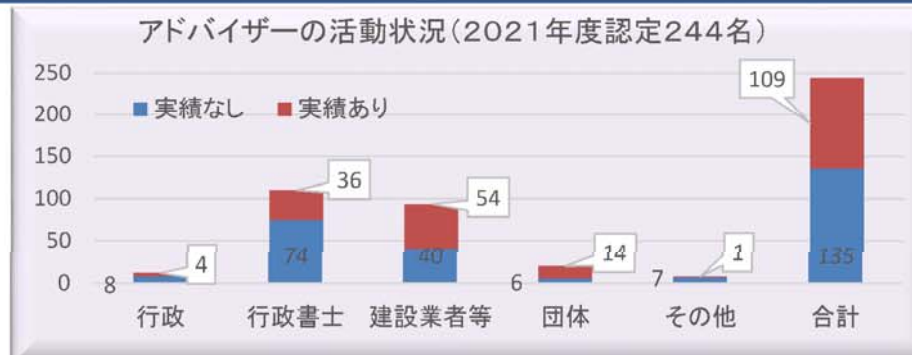
- CCUS認定アドバイザーは、CCUSの登録、現場運用等に係る専門的知識を修得し、利用者に対する適切な指導及び助言等を行い得る者として認められた総合アドバイザー。
- 2022年6月現在322名が活動中。ホームページに連絡先等が掲載され、関係企業や一般からの相談・問い合わせに対応するとともに、行政庁・業界団体と連携しCCUSの普及活動を展開。

2022年6月末現在、322名を認定
229名が名簿掲載(予定)

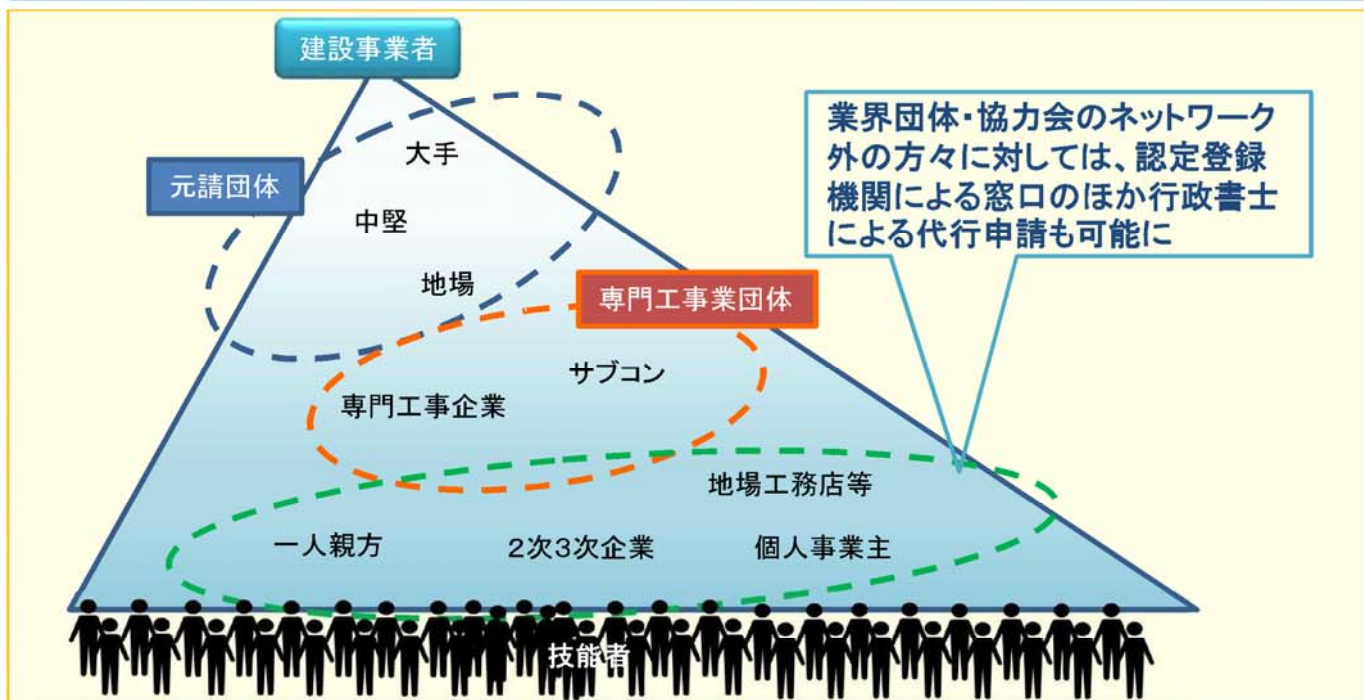
掲載数	
1~3	
4~7	
8~15	
16~	



アドバイザー属性	認定数	HP掲載
行政庁	12	0
行政書士	169	147
建設業者等	110	66
団体	21	10
その他	10	6
計	322	229



- 地方部におけるCCUS普及促進には、業界団体・元請協力会等のネットワークに属さない小規模事業者の登録が急務。なお、小規模事業者は自ら登録が困難な場合も少なくない。
- このため、小規模事業者とも接点を有する行政書士による代行申請を開始(2022年2月)。
- CCUSの実務習得のためのオンライン講習を実施し、これを受講した者を「CCUS登録行政書士」としてCCUSホームページにおいて公表、利用者の登録に向けた選択肢を広げたところ。



CCUS登録行政書士の状況(2022年6月20日)

	受講済		受講済
北海道	50	滋賀県	7
青森県	5	京都府	9
岩手県	6	大阪府	64
宮城県	20	兵庫県	28
秋田県	4	奈良県	4
山形県	5	和歌山県	2
福島県	10	鳥取県	2
茨城県	17	島根県	5
栃木県	9	岡山県	10
群馬県	14	広島県	20
埼玉県	38	山口県	7
千葉県	39	徳島県	2
東京都	79	香川県	5
神奈川県	34	愛媛県	7
新潟県	6	高知県	3
富山県	1	福岡県	38
石川県	5	佐賀県	3
福井県	3	長崎県	6
山梨県	5	熊本県	11
長野県	7	大分県	4
岐阜県	9	宮崎県	6
静岡県	35	鹿児島県	8
愛知県	33	沖縄県	9
三重県	8	計	702

(参考)

- 行政書士のID取得者数 **885人** (2022年5月末)
- CCUS実務講習受講済者 **702人** (2022年6月20日現在) → **CCUS登録行政書士**
- 行政書士による代行申請の状況 (2022年4月~6月)
 技能者926件/44,245件 (2.1%) 事業者329件/4,646件 (7.1%)
※全ての代行申請に占めるCCUS登録行政書士が行った代行申請の割合

CCUS についてもっと知りたい

建設キャリアアップシステム で検索!

<https://www.ccus.jp/>



1 CCUSに関する無料説明会をサテライトで開催しています。



ホームページトップヘッドラインの「説明会・サポート」>「CCUSサテライト説明会」から、

- ▼CCUSサテライト説明会 開催スケジュール(PDF)
- ▼CCUSサテライト説明会 申込みフォーム(Excel)

をダウンロードしてお申込みください。

2 YouTube でCCUSに関する説明動画を公開しています。



3 地元業者の登録状況を検索できます。

★ 不明点は、「FAQ(よくあるご質問)」の画面を開き、「キーワード検索」に知りたいことを入力して検索することができます。



★ それでも解決できないときは、トップ画面の一番下にある「お問い合わせフォーム」をクリックして、メールでお問い合わせいただくこともできます。



事業者一覧	
番号又は名称	番号又は名称
(株) 小塚三建	コセキタカエン
(株) 三井建中	サンキョウタカカ
(株) タナカ	タナカ
(株) 田中カラス	タナカカラス
(株) 田中造業	タナカキョウキョウ
田中造業 (株)	タナカキンゾウ
(株) 田中前	タナカケン
田中建機 (株)	タナカケンキ
(株) 田中建業	タナカケンキョウ
田中建工 (株)	タナカケンコウカブ
(株) 田中建設	タナカケンセツ
(株) 田中建設	タナカケンセツ
(株) 田中建設工業	タナカケンセツコウキョウ
田中建設工業 (株)	タナカケンセツコウキ
田中興業 (株)	タナカコウキョウ

- 建設キャリアアップシステムへの事業者登録、技能者登録にあたっては、「インターネット申請」と、窓口において対面で登録までの一連の手続を行うことのできる「窓口申請」の2つの申請形式があり、それぞれに応じたサポートを用意。【別紙1、2、3、4】
- また、建設キャリアアップシステムの工事現場での利用をサポートするため、「FAQ(よくあるご質問)」を掲載しているほか、メールでの問い合わせを希望する方のために「お問い合わせメールフォーム」、YouTubeを活用した動画説明「CCUSチャンネル」、CCUS担当者から現場運用等に関する説明を受けた上で直接質問・相談をすることができる「CCUSサテライト説明会」を活用することも可能。【別紙5】

事業者登録、技能者登録 にあたってのサポート		現場利用にあたってのサポート	その他
窓口申請をする場合 (認定登録機関申請)	インターネット申請 をする場合		
		FAQ(よくあるご質問)	
		お問い合わせメールフォーム	
		CCUSチャンネル	
		CCUSサテライト説明会	
		CCUS認定アドバイザー	
		CCUS登録行政書士	